



柿栗レポート

ごあいさつ

花の盛りも過ぎ、初夏の気配が漂う季節となりました。皆様はいかがお過ごしでしょうか。

長引くコロナ禍で市内のイベントや活動も次々と中止または縮小されており、なかなか皆様とお会いできる機会を作ることも難しく、残念に感じております。

しかし時の流れは早いもので、3月には、私が市議会議員としての活動を開始してからすでに2度目の定例会を迎えました。一部定例会の内容を抜粋し、ここにご報告いたします。

市の事業予算 (ピックアップ)

事業内容	予算額
学校給食施設改築事業 ----- 共同調理場（給食センター）建設に伴い、全17校の現給食室を給食受け入れ施設に改築・新築するための実施設計・アスベスト調査。また、共同調理場本体の実実施設計に間違いが発覚したため、その修正のための委託料。	77,294,000 円 -財源- 地方債 69,200,000 円 市税等 8,094,000 円
学校プール運営事業 ----- 市内の学校プール施設の多くは老朽化が著しく進み、大規模な改修や改築を要する時期にきています。市内の全ての児童生徒が、プールの授業を公平に受けられるよう、学校プールのあり方を検討します。令和4年度は、自校プールを使用できない八名小学校、庭野小学校、八名中学校の3校について民間施設を利用したプールの授業を試験的に実施します。	5,760,000 円 -財源- 全額 市税等
外国人児童生徒教育推進事業 ----- 日本の学校に初めて入学する児童生徒や市内の学校に在籍する日本語の初期指導が必要な児童生徒を対象に、「日本語初期指導教室」を開室しています。日常生活・学校生活で使う日本語及び学習に必要な日本語の習得を目指し、短期集中型で学びを進めています。また、保護者会や進路説明会での通訳、学校からの発送文書の翻訳、授業での補助等をポルトガル語やタガログ語を話すことができる支援スタッフがを行っています。	3,548,000 円 -財源- 県補助金 683,000 円 市税等 2,865,000 円
庁内LAN管理事業・鳳来総合支所周辺整備事業 鳳来総合支所等整備事業 ----- 鳳来総合支所建設工事、防災倉庫建設工事、支所西館改修工事等を行います。令和5年春の供用開始を目指して新しい鳳来総合支所、防災倉庫を建設します。あわせて、支所西館（現 鳳来保健センター）の改修工事を行います。また、現在の鳳来総合支所の跡地活用について検討します。	1,271,241,000 円 -財源- ・国庫補助金 ・庁舎等建設基金繰入金 ・地方債 ・市税等

上記事業またその他の事業に関しては、新城市 HP「令和4年度予算」をご覧ください。電話 0536-23-7616



1月23日、橋向公民館祭りに出席させていただきました。

彫刻家の佐藤智先生より、橋向三猿像制作のお話と初代三猿像のお話を伺い、初代三猿がいかにか国宝級に素晴らしい物かが分かりました！初代像は123年前に玖老勢石と言う砂岩で作られた、とても貴重なものだという事です。現在は公民館横のお寺の裏手に展示してあります。



1月26日、女性議会を別部屋にて傍聴しました。

- ①中学校部活動について
 - ②鳳来寺山を活性化させ、世界へ誇れる観光地へ
 - ③地域自治、まちづくりにおける住民と行政の役割分担について
 - ④子育て環境の整備について
- と、市議会でも取り上げて良いような内容ばかりで、とても参考になりました。当日の様子は、「令和3年新城市女性議会」で検索すると、HPから動画や議事録を見ることができます。

ワード

ふたいけつぎ【付帯決議】

議決された法案・予算案に関して、議会より、付随的につけられる意見または要望の決議。

法律的な効果ではなく、政治的に尊重されるべきものとされています。

【カークランド陽子事務所】

住所：愛知県新城市西新町 29-2

電話：080 9280 9605

E-mail: info@yoko-kirkland.com

HP: yoko-kirkland.com

ご意見・ご質問等、お気軽にお問い合わせくださいね♪

～ちょっと雑談 😊～

うちのイギリス人旦那。結婚してちょっとの頃。ある日旦那がダイエットを始めると言い出し、体重を測っていました。体重計を見ると80キロとの表示。それから2ヶ月くらいしたある日の昼下がり。向こうのほうで「やったー!! 痩せた!!」と、喜ぶ旦那の声。おー! と思って、旦那が乗る体重計を見るとなんと体重は・・・82キロ!! 「え??? ダイエットを始めると言っていた時、80キロじゃなかった?」って言ったら、誇らしげに旦那、「実は君には内緒にしていたけど、あれから85キロまで増えたから、3キロも減った!!」私「けど始めた時に80キロだったから、結果として痩せてはいないよね?」「いや、痩せた」「痩せてない」・・・すると旦那、「君は、横で喜んでいる人がいるのに否定するなんて、なんてネガティブなんだ❌」。生まれて初めてネガティブと言われてカチンときた私も反撃。「ネガティブじゃなくて現実的ただけです❌」

これが国際結婚の文化の違いから来る考え方の相違だと気づいたのは、それからしばらく後の事でした。

令和4年3月定例会・一般質問

① 学校給食共同調理場建設に見る、事業の決め方・進め方について

いわゆる学校給食センター事業ですが、公共施設のあり方の検討は市民の皆さんと連携した議論の中で進められるべきであるとあるにも関わらず、この事業に関しては保護者に対してすら説明は愚か、決定の報告すらされていない現状があることに疑問を感じる。

疑問(1) 決める際に市民の声は聞きましたか?の質問に、校長会から要望が出た。また、予算が議会で通ったから市民の声を聞いたことになるとのお答えがあった。が、私が独自に取った無作為なアンケート(169人)では、できれば自校式か親子式が良い80%・どちらでも良い16%。また3分の1がこの事業の存在を知らなかったと答え、86%が、決める前に市民の声を聞いてほしいと答えた。

疑問(2) 2月に厚生文教委員会への説明の機会を設けていただいたが、それを持ってしても以下の疑問が払拭されなかった。
 ●自校式が続けられない大きな理由の一つに老朽化が挙げられているが、新城市の各学校の給食室は、築4年や9年のものもあり、それを除いても築25年から築58年とばらつきがある。ちなみに給食室の耐用年数は木造で25年・最長の鉄筋で41年。耐用年数に照らし合わせると老朽化が激しく自校式が続けられないとのことだが、耐用年数に照らし合わせるなら少なくとも20年ほど前には改築や建て替えをするべきだったのに、なぜ今まで放置していたのか。また平成25年には文部科学省から、耐用年数の超過を重視した改築の判断をするのは慎重にし、長寿命化を検討するべきとの旨の方針も出されているにも関わらず、新城市では給食室の長寿命化もしていない。
 ●調理員不足に関しても、重労働であるにも関わらずお給料が安いことが人手不足の大きな一因になっている可能性があることは明らかであるにも関わらず、長年昇給も資格手当もつけていない。条例などを変えることによってお給料を変えることは本当に不可能なのか?

疑問(3) 議会には事業が決定して予算の段階になってから報告された上に、当時の議員への説明の中の自校式が続けられない理由に誤りがあった。

疑問(4) 平成30年の教育委員会定例会で、「市政経営会議※において給食室はできるだけ集約するようにと指示があった」と、市民代表の委員には伝えられている。※市長・副市長・教育長・企画部長・総務部長などからなる会議(最初からセンターで決まっていた?)

疑問(5) この事業では、不可解なことがいくつも起こっている。
 ●見積書(公文書)が紛失し、業者に再発行して貰えば良いと議員が提案するも、結局提出はされず、現在も紛失したままである。
 ●令和2年の設計業者との打ち合わせ記録に、センター建築予定の敷地境界線には県旧道の土地が含まれるので、確認が必要」とあるにも関わらず、敷地の確保をする前に約6千万円かけた基本設計と実施設計を行なってしまっている。(県の土地は未だ取得できていない)
 ●約4千300万円の実施設計の見積もり契約書には当初本体の見積もり+17校分の受け入れ施設の見積もりも含まれていた。が、その後見積もり額は同じままで17校分の見積もりが契約書から外されており、3月議会で新たに17校分の見積もり分等約8千万円が計上されている。

質問 このような箱物事業の決定までの過程と進め方に、ある程度決まった手順はあるのか?

回答 私の基本方針及び重要施作等の決定については、市政経営会議で決定される。この事業に関しては、担当課が作成した「新城市学校給食施設整備方針」市政経営会議で了承された。その後予算が議会で承認された。

質問 この事業に限らず、どこで市民の声を聞く・どこで議会に相談するなどの手順のようなものはないのか?また、この事業では保護者に決定のお知らせすらしていないのはなぜか?

回答 事業により違うので、決まった手順はない。庁内の検討中随時決める。決定のお知らせに関しては、する機会を逃した。

質問 この事業では、設計や土地に関する大きなミスが多発しているが、他の専門的な部署との連携はしていないのか?

回答 庁内に建築士がいるので、指導してもらいながら進めている。

【下記の付帯決議が、全会一致で議決されました】

- (1) これまでの事業・予算執行にかかる不手際については、深く反省・検証し、再発防止を行う事。
- (2) 市民に対しさらなる丁寧な事業説明を積極的に行う事。
- (3) 総事業費を早急に示された上で、財政計画及び財源の内訳を示し、将来にわたる市民負担等を明確にする事。
- (4) 今後の発注・入札等については、適正な執行を行う事。
- (5) 施設の運営にあたっては、食育・地産地消(市産市消)・子供たちの安心安全で安定した給食提供に努め、現在の調理員の雇用については最大限の配慮を行う事。

② 業務の効率化と職員のスキルアップは、働き方改革の目標の一つでもある「労働生産性を上げる」ための必須事項である。これによって職員のモチベーションも上がり、ひいてはそれが一般市民の満足度にもつながると考えるが、

質問 現在どのような周期や視点で人事異動が行われているか。→ **回答** 周期は、若手は在課機関が3~5年を目安にしているが、職員の出入りなど複雑に絡んでおり、なかなか添えない場合もある。管理職は専門性を鑑み、これまで経験した部署に行くことが多い。また、長期同じ部署にいる職員は専門職などの場合のみである。

質問 平成23年に作成されている「新城市人材育成基本方針」にある、「人材育成の方策・推進施作」に示されていることは、どの程度実行できているのか。→ → → → → **提案**：民間企業への長期の出向なども検討しては? **回答** 今までのものをどの程度実行できていたかについては、測定する基準がないのでわからない。今後内容も時代にあったものに変えていく予定である。また、対話によって部課を超えての協力をしていく。生産性の高い働き方には自治体DXなど活用。

質問 必要ないと思われる事業は適切に削ることはできているのか? **提案**：他市では事業の費用や評価がわかる「事務事業評価」を公表しているが、新城市でもHPで公表しては? **回答** 直接市民と接する部課で采配を行っていて、目的を達成したものは適宜取りやめている。

③ 子供へのコロナ対応について、政府や専門家の間でも賛否両論がある現状がある。保護者からも情報不足による不安の声も聞こえており、新城市としても正しい情報をしっかりと市民に伝えていくべきと考え、伺う。

質問：5-11歳のコロナワクチンについて政府の分科会で努力義務を外すと言う事が決定されたが、それに対する本市の理解と本市での事業の推進の仕方は?(子供はほとんど重症化していない上に、ワクチンによる重篤反応も数多く報告されているので、そう言ったデータなども伝えて欲しい。)
回答：接種券に同封した案内文に努力義務ではないことを明記し、本人と保護者が納得の上予約するよう案内している。希望する方が安心して接種を行えるよう医療機関と連携して行う。

質問：こども園と小学校における子供に対するマスク着用について、WHOでも、5歳以下はマスクをしなくて良い、また11までの子供も、遊んだり学んだりすることは子供の発達と健康にとってとても重要な部分を担っている。マスクをしていないことによって、学校や活動に参加できないと言うことはあるべきではないと言っているし、マスクが子供の発育に大きな悪影響を与えていると言う調査結果もあるが、本市の方針は?
回答：こども園はマスク着用の大切さを保護者に伝え、着用を促している。小学校では適切に着用するよう指導している。